

主な活動

1. 広報・出版・発信：機関誌「Kwacha」発行（年2回）、HPやSNSでの情報発信、旅行ガイド・国情紹介誌の制作、チェワ語辞典出版、協力隊まつりやグローバルフェスタなどイベントへの参加・出展
2. 催事・文化交流：「マラウイを語る集い（シマを食べる会）」やセミナー開催
3. 支援活動：「マラウイ・ウォームハート・プロジェクト」（協力隊員と連携した草の根支援スキーム）の実施



アフリカ大陸の南東部に位置するマラウイは、「アフリカの温かい心」とも称される国で、その名の通り人々の温かさがあふれる国です。青年海外協力隊（現：JICA海外協力隊）が1971年にマラウイにはじめて派遣されて以来、50年以上にわたる歴史の中で、マラウイは日本から最も多くの協力隊員が派遣された国（2025年時点で累計約2,000名）となっています。



日本とマラウイのかけ橋となる活動の輪を一層大きなものにしていくべく、1983年には帰国隊員のOB/OG会を発展的に解消し、「日本マラウイ協会」が設立されました。会員登録やイベントへの参加にあたっては、経験、職業、国籍、居住地を問わず、本会の趣旨に賛同いただける方であれば、どなたでも歓迎です！

団体紹介



- 設立日：1983年2月26日
- 会員数：約200名
- 目的：日本とマラウイの相互理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術など多様な分野における協力を通じて、両国の友好と繁栄に貢献する。
- 加入方法：所定の申込書を記入の上、年会費とともに事務局へ提出ください。詳細は公式ホームページまたは事務局まで。

